

自連タイプ カプラー交換方法（K社製 旧型客車・ボギー貨車）

【注意】

光造形3Dプリンター製の部品は、固く弾力性が無いので、無理な力を掛けないでください。破損の原因となることがあります。

【取付け説明】

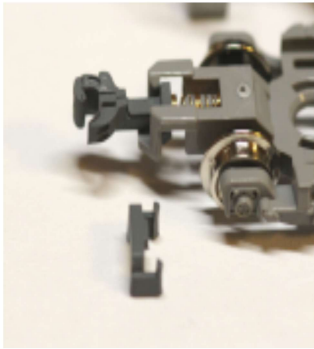
アーノルドカプラーは、連結の際に上方向に持ち上がる事で連結されますが、自連タイプカプラーは、上方向に持ち上がると、ナックル部が開放されず連結出来ません。

このため、カプラーが上方向に持ち上がらない押え部品を組込む必要があります。

以下の手順で、カプラーとカプラー押えを取り付けてください。

但し、カプラーポケットは車両により異なる場合があります、カプラー押えが取付けできない可能性もありますので、その場合はカプラー押えを使用せずご使用ください。（自動連結は困難ですが、連結は可能です）

① 台車を外し、カプラーを交換します（例：タキ1000）



台車を斜め上から見た図です

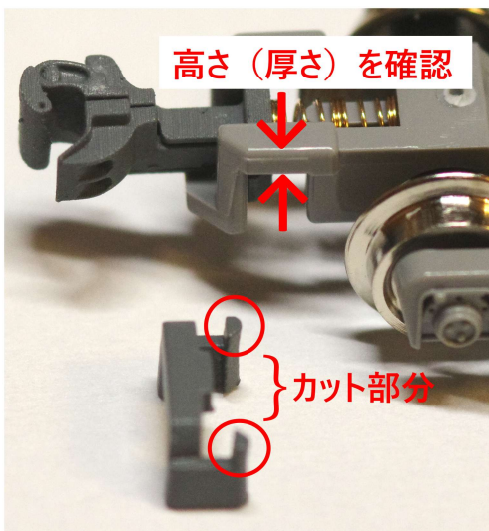
自連タイプカプラーを組み込む際は、無理な力が掛らないように注意してください。

ナックル部を持ってカプラーを無理に捻ると、ネック部が破損します。

垂直方向からポケットに差込み、やや斜めにしながら力を加えずにセットするか、カプラーポケット側を広げてセットしてください。

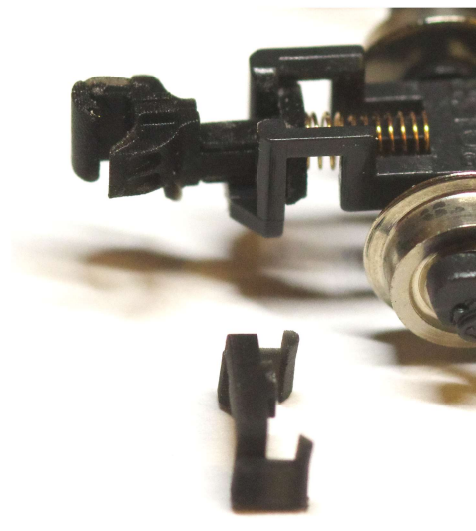
②カプラーポケットの形状を確認します

型式や製造年代によって、カプラーポケットの形状が異なるため、取付ける車両のカプラーポケットの形状をご確認の上、必要に応じて、カプラー押えのツメをカットしてください。



＜カットが必要な例＞

KATO タキ1000、コキ106など



＜カットが不要な例＞

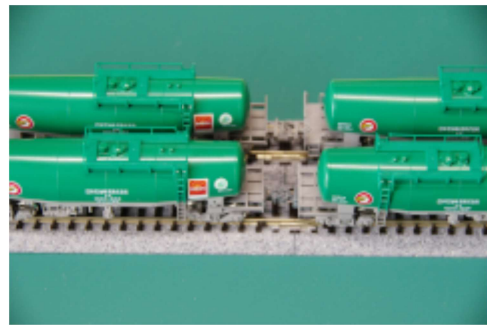
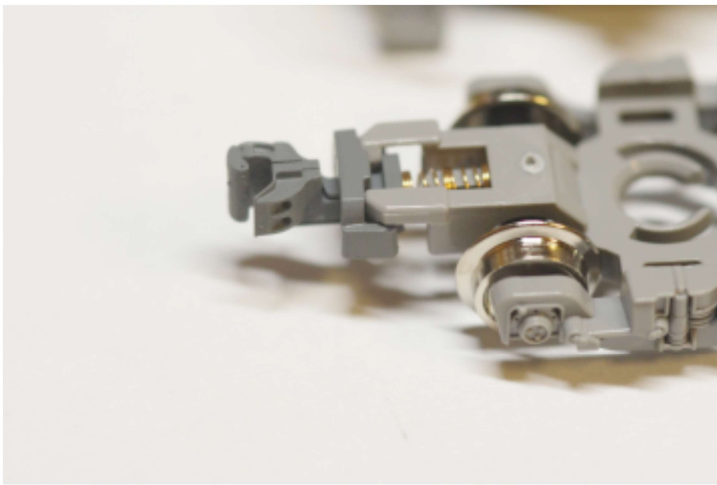
KATO タキ43000、スハ43形など

③ カプラーポケットの上面からカプラー押えを取り付けます

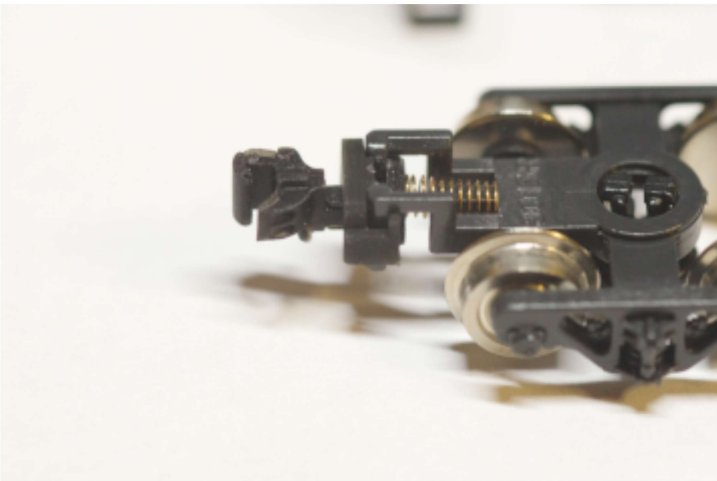


②の際に爪が折れやすいので、片側を引っ掛け
反対側をゆっくり勘合させてください

KATO タキ1000装着例（ツメをカット）



KATO タキ43000装着例（ツメのカット無し）



連結、開放の方法

注意

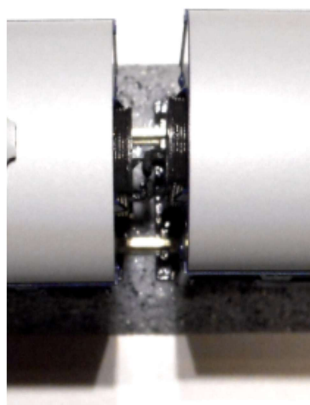
光造形3Dプリンター製の部品は、固く弾力性が無いので、無理な力を掛けないでください。また、衝突などの衝撃も避けてください。破損の原因となることがあります。

① 連結方法

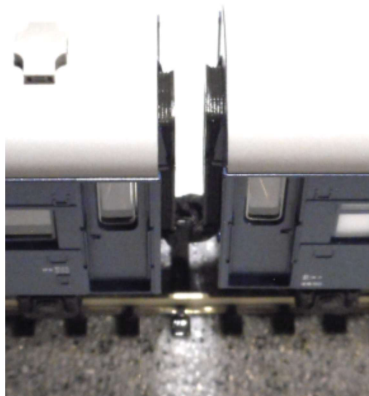
レール上で、カプラーの方向を真っ直ぐにして、軽く押し当ててください。

連結は、車両を持ち上げることなく連結可能です。

カプラーの向きを正対（お互いに真っ直ぐ）させてから連結してください。



連結の直前



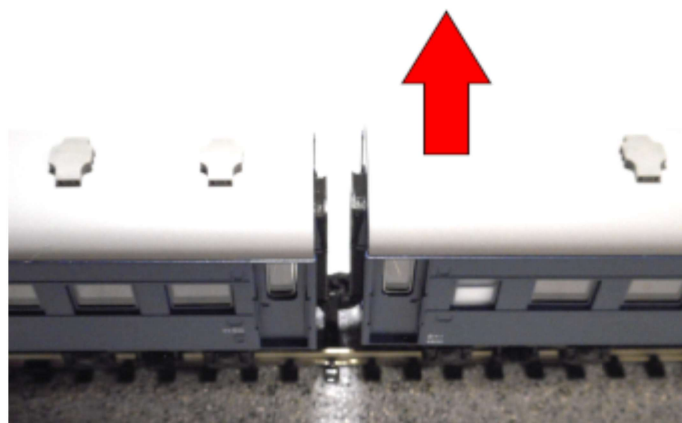
連結後

② 開放方法

連結しているどちらかの車両を、垂直に持ち上げてください。

車両を走行方向（レール上を走らせる方向）に引っ張っての開放は出来ません。

必ず、どちらかの車両を持ち上げ、垂直方向に開放してください。



不明点や追加のご相談がありましたら、以下の Web より、お問合せ下さい。

秀じい工作室 | <https://hideji-ws.com>